

## 平成29年度第1回防府市図書館協議会

日時：平成29年7月7日（金） 午後3時～午後4時30分

場所：防府市役所 1号館3階第1会議室

### ■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、山本委員、津守委員、河村委員、新田委員、  
山崎委員、吉武委員、土井委員、山田委員（計10名）

（事務局）杉山教育長、原田部長、河田部次長、原田教育総務課長、  
森川図書館長、徳永図書館管理室長

■欠席者 なし

■傍聴者 2名

### ■議事録

#### ○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「平成29年度第1回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

本日お集まりの委員の皆様には、大変御多忙中、御出席を賜りましてありがとうございます。

本日司会を担当いたします、私、教育総務課図書館管理室の御手洗と申します。よろしく願いいたします。

それでは、お手元の会議次第にしたがいまして進めて参りますので、よろしく願い申し上げます。

開催にあたり、教育長から御挨拶申し上げます。

#### ○教育長

梅雨の終わりかけということで、隣の福岡県・大分県では大変な被害になっております。防府市も平成21年7月21日豪雨災害に見舞われましたが、早く復興を願わずにはいられないところでございます。

今日は、雨を心配しておりましたけれども、たいした事もなく、こうして図書館協議会が開催できますことを大変嬉しく思っております。皆様方におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、市立図書館におきましては、指定管理者制度を導入いたしまして、公益財団法人防府市文化振興財団による管理運営体制になり、ほぼ一年あまりが経ちました。

市では、図書館管理室を中心に、図書館の運営状況を確認しつつ、適宜、指導や助言を行い、図書館行政の、より一層の推進を目指してきております。

今回の協議会では、新たな体制で実施いたしました、平成28年度の図書館事業の評価につきまして、昨年度に引き続き、御協議いただきたくことになっております。

教育委員会といたしましては、これからも、市立図書館が、生涯学習の中核施設として、十分にその役割を果たし、本市の教育・文化の振興に大きく寄与することができるよう努めてまいる所存でございます。御支援の程、よろしくお願い致します。

簡単ではございますが、開催にあたりましての御挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願い致します。

○事務局

それでは、会長・副会長に一言御挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

○会長

皆様、雨模様の中また御多用のところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

教育長の御挨拶にもありましたけれども、防府市図書館は昨年度から、防府市文化振興財団の指定管理による管理・運営に移行しておりますけれども、約1年間を経過いたしまして、若い職員の方々もだいぶ慣れてこられたと思っておりますし、また新たな事業も始めておられまして、様々な課題も出てきているところかと思っております。

この図書館協議会につきましても、昨年度から新たに設置されたわけですがけれども、一昨年度策定されました図書館サービス振興基本計画の進捗状況をチェックするためもありまして、協議会委員の皆様には図書館事業に対する評価をしていただくということになり、昨年度の3回の協議会では、その評価の仕方についていろいろと熱心に協議していただきました。今年度第1回目の図書館協議会では、その評価のとりまとめをすることが主な協議題となります。皆様方にはあらかじめ、図書館についての御意見を提出していただきました。御協力をいただきましてありがとうございました。

この防府の図書館協議会が昨年度新たに発足するのと同時に、タイミングよく、国の方からも市町村図書館協議会に対する地方交付税措置が、わずかではありますが開始されております。従来までは県立図書館の協議会に対してはあ

ったのですが、地方財政措置が始められたということは、制度的に保障された住民参加のしくみである図書館協議会が それだけ重視されるようになっていくということでもありますので、委員の皆様には図書館事業の評価について、なかなか負担になることがあろうかと思えますけれども、図書館サービスの充実と発展のために、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

#### ○副会長

この度、平成28年度の評価ということで、まずは図書館、図書館管理室がこれをお作りになられて大変だったのだろうなと思ひながら拝見しました。私どもはこれの評価させていただいて、私は一側面からしか見ていなかったようで、かえって他の委員さんのご意見を見せていただいて、こういった視点もあるのかと学んだというところがございます。いろいろな御意見が出ておりますが、今日はこの評価をまとめるということと、平成29年度の事業計画ということだそうですので、忌憚のない御意見を頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

#### ○事務局

ありがとうございました。

なお、この度、協議会委員の交代がありましたので、ご報告いたします。

7月1日付で、小野小学校校長の三輪孝行様が、山陽小野田市の学校教育課長として異動され、後任に山陽小野田市立高千帆中学校から山本賢一朗様が着任されました。(事務局異動者紹介・会議資料の確認)

- 1 防府市図書館協議会(第1回)次第…1枚もの
- 2 委員名簿
- 3 防府市図書館協議会座席表…本日配付
- 4 平成28年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価…資料1
- 5 平成28年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況評価(案)…資料2
- 6 防府市図書館サービス振興基本計画平成29年度事業計画…資料3
- 7 利用者数及び貸出冊数の資料1枚、職員研修の資料1枚

会議資料等、お手元にごございますでしょうか。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項に、「会長は会議の議長となる」と定めておりますので、これからの会議につきましては、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

#### ○議長

今日の主題は、冒頭で申しましたように、図書館事業に対する評価のとりまとめをすることです。7つの大項目がありますが、それに沿って進めていくの

で、かなり時間がかかるかとは思いますが、スムーズに運びますようによろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に、今回のこの会議につきましても、従来と同様に会議及び会議記録につきましても、公開ということによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、異議なしということで、「公開」で進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

それでは、これより議事に入ります。

「議題（１）平成２８年度事業実施状況の評価について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

委員の皆様には、お忙しいところ、今回の評価に先立ちまして、コメントをお寄せいただきましてありがとうございます。図書館の事業に対しまして、いろいろな御期待も感じております。それにお応え出来るように、図書館としても事務局としても努力してまいりたいと考えております。

では説明に入らせていただきます。

資料１は、委員の皆様からのコメントを要約したものです。●、○、・という記号がそれぞれの頭についておりますけれども、●は課題となる部分、○は評価していただいた部分、・は御要望として受け止めたものを書いたもので、それぞれに分類しております。

資料２は、あらかじめ評価をしていただきます時に、図書館から自己事業実施状況と評価を記入したものの提出を受けて、委員の皆様にお送りしておりますので、皆様方にはお読みいただいているとして進めさせていただきます。それぞれの項目のコメント欄に事務局（案）を入れておりますが、これは一番シンプルな形で入れておりますので、今回の会議の中で委員の皆様から加えた方がよいものまた内容について変えたほうがよいもの等、御意見をいただきまして最終的に防府市図書館協議会としての評価のコメントとしてまとめさせていただきます。本日、御協議いただき事務局の方で最終的なコメントをまとめた後、もう一度委員の皆様にお送りをして確認していただくつもりでございますので、忌憚のない御意見をお願いいたします。

説明の進め方については、大きな７つの項目がございますので、１つ１つについてまず図書館から説明を受け、その後に事務局からコメントについて御説明をし、皆様から御意見をいただくというかたちで、１つずつ進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○図書館長

皆様方には、あらかじめ、この資料および平成２８年度図書館年報をお読み

いただいているという前提の下に話を進めてまいりますので、重点的な事柄のみを御説明いたします。

1については、小項目が4つございますが、それぞれ概ね計画どおり実施できました。ただし(1)のところで、郷土資料の十分な収集ができなかったことが反省点でございます。2ページ目(3)のわっしょい文庫のサービスについては、ほぼ計画どおり実施いたしまして、前年度に比べ貸出者数・貸出冊数ともに増加いたしております。

#### ○事務局

第1の項目のコメント(案)についてですが、館長の説明にもありましたが、郷土資料の収集が少し思うように進まなかったということと、移動図書館の利用増に関しまして、皆様の御意見もそこを課題としてあげていただいたり、評価していただいたりしておりますので、コメント(案)をこのように作成いたしました。皆様の御意見をいただきたいと思っております。

#### ○議長

図書館と図書館管理室から説明がありましたが、それに対して質問なり御意見がございましたら、お願いします。

資料1を参考にしながら、また書かれていることに対しての御質問がございましたら、よろしくお願いします。

では、私の方から、利用実績が資料2の方で出てこないのですが別紙で出されておりますので、図書館年報にも詳しい情報がでているのですが、今日出された年齢別・分類別利用実績(別紙)について、若干説明していただけますか。

#### ○図書館長

それでは、別紙の平成28年度年齢別・分類別貸出冊数について説明をいたします。

図書館年報にも利用実績は載せておりますが、年齢別の利用者数、日本十進分類法に基づく分類別の貸出冊数を、これまで載せておりませんでしたので、それを分かりやすくするために、この度この資料を付けております。

年齢別の利用者数は、ここにあるように登録者数・貸出者数・貸出冊数という項目で示しておりますけれども、0歳から18歳までの利用については、7歳から12歳までの小学生の利用が多いことが分かります。それから、一般(大人)においては、年齢が上がるにつれて、利用が多いということが言えます。

分類別の貸出冊数については、9類文学に関する資料の利用が多いということが言えます。次に貸出の多い5類は、工学や家事の関係の図書が多いのですが、料理とか編み物とかインテリアとか、いわゆる実用書の利用が多いということが言えます。児童については、図書館では絵本をEという略記号で表しておりますけれども、この絵本の利用が最も多いということが言えます。また雑

誌の利用についてもかなり多いということが、この表から言えると思います。

○議長

委員の皆様からも高齢者に対する意見がいろいろ出ておりましたけれども、この利用実績を見ましても、年齢別でいきますと、50代60代が非常に多いということが言えますね。かつては、子どもの利用が多かったのですが、児童数が減少したということもあり、超高齢社会に入っておりますので、その関係もありまして、高齢者の利用が多くなっているということですね。

他に御意見・御質問がございましたら。

○委員

郷土資料の位置づけのことで、実際図書館で郷土資料を見せていただきましたら、防府市ゆかりの文学者のものから、市の統計資料から、いろいろな資料が防府市というくくりで集まっていると思うのですが、ぱっと見ただけでは雑多な感じで収まっているので、例えば文学者でもどこからどういう風に連なっているかわからなくて、郷土資料を利用される方がどれくらいいらっしゃるかわかりませんが、もう少し郷土資料としての位置づけ・意味合いなどを打ち出して集められたらいいのではと思います。

例えば同窓会誌なども、探しているものにとっては物足りない気がしたのと、市の統計資料で以前は冊子になったものがあつたのが、ある年度からは、ただのファイルになり、それから後は無くなっていて、受付でお聞きしたら、今はもうインターネットのホームページで見てくださいということだったので。私は、見たいと思ったら家で見るのですが、インターネットを使わない人たちからしたら、図書館の役割としてどうかと思いました。それも、説明もなく突然、これから先の資料はありませんということでしたので、ちょっと不親切なのではないかという気がしました。

○図書館長

郷土資料・地域資料については、郷土と関係のある人物や事柄等に関する資料および地方行政資料(山口県・防府市関係)を中心に集めておりまして、平成28年度の貸出冊数で見ますと、4,768冊の館外貸出がありました。郷土資料は館内での閲覧が非常に多いのですが、必要に応じて借りて帰られる方も多いということがございます。

収集方針としては、雑多な感じで集めているということではなく、様々な郷土資料に関する情報を、新聞とか放送、行政機関等を通じて集めるようにしていますが、いまだ情報収集については十分でないところがあると反省しております。今後、郷土資料に関する情報収集体制をきちんと確立いたしまして、放送・新聞その他のメディアに載せられております様々な情報を職員が日常的にチェックするとともに、防府市・山口県関係の行政機関が発行している計画・

報告書等についても積極的に収集し、提供していこうと思っております。特に行政資料については、職員はその内容をよく理解しておかないと、サービスがちぐはぐなものになってしまうことがありますので、地方行政資料に関する研修を、去る5月2日に2時間ほどかけて行ったところでございます。

先ほど御指摘のありました防府市の統計書については、ある時期までは冊子体で出ておりましたが、数年前からいわゆるインターネット情報と言いますか、市のホームページ上での公開になっております。先日も職員の間で協議いたしまして、委員の御指摘があったように、全ての人がインターネットを使って見ることができるというわけではないので、もちろん図書館ではインターネットを使って見ることができる設備を備えておりますけれども、個人的に見ることが難しい方もございますので、市のホームページからプリントアウトして冊子体にし、利用者に提供するというようにいたしました。今後は、市の統計情報等、電子情報でしか出ていないものについては、紙媒体の冊子体にして利用者に提供するよう努めていきたいと考えております。

○議長

はい。確かに、いろいろな行政資料が近年ではインターネット上で公開されて冊子体にならない場合がありますので、図書館で冊子体にされると助かりますね。あと、形態として薄いものが多いので、書架に配列してあるときに分かりやすくしていただけると、更に良いのではないかと考えております。

他にはよろしいですか。他にないようでしたら、1はこのコメント（案）でよろしいですか。それでは、これでいくことにしましょう。

それでは、2について御説明をお願いします。

○図書館長

2についてですが、2つの小項目がいずれも概ね計画どおり実施できております。

(1)については、昨年度初めて図書館利用者懇談会を実施いたしました。参加者数は十分とは言えなかったのですが、内容的には非常に良い懇談会が開催できたと思っております。

(2)については、図書館ボランティア連絡会議を、昨年度、初めて開催いたしました。16人のボランティアの方の御参加をいただきまして、日常的な図書館ボランティア活動を通して感じていらっしゃる事、色々悩んでいらっしゃる事などをお聞きいたしましたので、今後のボランティア活動が円滑にできるよう、図書館としても対応してまいりたいと思っております。概ね計画どおり実施できたことを御報告いたします。

○事務局

続いて、コメント（案）です。皆様には、図書館まつりや子ども読書フェス

ティバルが市民の間に定着してきているということで評価していただいております。また、図書館利用者懇談会の開催も評価していただいております。ただ、子ども読書フェスティバルへの子ども達の参加が少ないとか、行事の見直しも必要ではないか、またその行事の広報についても工夫が必要ではないかという御指摘もいただいておりますので、コメント（案）としては資料3ページのようになっております。皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

今の説明に対する御質問・御意見がございましたら。

コメント（案）と資料1につきましては、この会議で初めて見るので、意見が出にくい面もあるかと思いますが、コメント（案）に掲載された方の御意見がありましたら。

○委員

内容というより、書き方の順番ですが、どういう風になっていますか。

「必要である」という意見と「有意義であった」という意見が混在しているので整理した方が良いのではないかと思うのですが、何か意図するものがあるのでしょうか。

○事務局

順番につきましては、2の中の（1）または（2）の記載されている内容の順番に入れました。そして全体に関わるものは、その後につけました。そのため、評価されている点と課題という整理をした上での順番になっておりません。表記の仕方についても御指摘や御意見がいただけたらと思っております。

○議長

コメント（案）の方は、課題と評価と要望が混在している形になっていますね。子ども読書フェスティバルへの子ども参加者の件ですけれども、子ども主体の行事をすると、子どもさん自体も、その保護者の方たちも参加されるので賑わうのですが、子どもの参加については、保育園・幼稚園・小学校等は、なかなか子どもたちを校区外へ出しにくいということがあるようにお聞きしていますけれども、図書館長、どうですか。

○図書館長

図書館とすれば大勢の子ども達に来てほしいわけですがけれども、それぞれの学校の事情もありますので、学校とよく協議し、子ども達が参加しやすい環境を作っていければと考えております。今後の課題だと思います。これまで、子ども読書フェスティバルで子ども達がたくさん参加したのは、幼稚園や保育園の子ども達と保護者とと一緒に来てもらいイベントを行う形式にした時でした。小学生や中学生を対象に催し物を行うということになれば、多くの児童生徒が校区外ということにもなり、様々な条件が絡んでくると思いますので、その辺



りは図書館と教育委員会・小中学校との協議が必要になってくるだろうと思います。

#### ○委員

図書館まつりが年々定着して膨らんで来ていることは、御尽力の成果だろうと思っております。子どもの参加を増やす必要があるというコメントがありますけれども、実は生涯学習課で第3日曜日家庭の日に、「親と子のふれあいイベント」をしまして、私の所属しているグループもお手伝いをしているのですが、そのまつりに参加してみると、幼稚園・保育園・小学校低学年の子ども達は、保護者と一緒になって参加している姿を見まして、喜んでいるのですが、先月のイベントのひとつに読み聞かせがあって、山口短大のちやすむんきーというボランティアサークルの学生達並びに市内の高校生のお手伝いで読み聞かせをやりました。その時に子ども達あるいは保護者がどのくらい集まるかと心配しましたが、比較的多くの子ども達・保護者が大学生の読み聞かせに目を輝かせて参加しておりました。保護者の方も、食い入るような感じで参加されている様子を見ていて、図書館での子ども読書フェスティバルにも保護者の方への働きかけが大切かなと思いました。その際、このイベントをどちらでお知りになったか聞いたところ、幼稚園・保育園・小学校低学年等では、学校や園から保護者宛にいろいろなチラシを貰って帰ってきて、それを見て参加しましたという話でした。今後、子ども読書フェスティバルでもそういう広報をされると、更に参加者が増えていくだろうと思いました。併せて読書を大切にすることが、子ども達にも定着して、読書好きの子どもが増えていくと思いました。

#### ○議長

それでは、今の御意見を参考にさせていただければと思います。

2のコメントは、これでよろしいでしょうか。

それでは、3の説明をお願いします。

#### ○図書館長

3では、2つの小項目について事業を実施いたしております。

(1)については、先ほどの説明と重複しますが、利用者懇談会・ボランティア連絡会議、そしてビブリオバトルという読書推進イベントを新たに開始いたしました。このことは、新事業として評価の対象になることではないかと思っております。全体を通じて、概ね計画どおり実施できました。

#### ○事務局

続いて、コメント（案）についてですが、委員の皆様から、館内展示の実施については評価していただいておりますけれども、展示の方法とか館内のディスプレイの部分、それから図書館にいらっしゃる方ではなくて、まだ図書館を

利用されていない方への周知というところで、御指摘をいただいております。それからボランティア連絡会議の開催については、御評価いただいておりますので、コメント（案）は、資料4ページのようにいたしました。皆様の御意見をお願いします。

○議長

皆様の御意見がございましたら、お願いします。

図書館協議会も昨年度から始まったわけですが、利用者懇談会というのは、協議会委員だけの御意見を聞くのではなくて、広く一般の利用者からの図書館サービスについての御意見なり質問なりを聞く機会を設定したということです。

一覧表の3のところで展示の仕方について、いろいろと御意見が出ておりますけれど、コメント（案）でよろしいでしょうか。

○委員

図書館の展示についてですが、字が小さいような気がします。利用者も高齢の方が多いようですので、大きなインパクトのある活字で書いていただけたらなと思いました。ほかにも、子どものところ（児童室）、カウンターのところ（カウンター前）と一般のところ（展示コーナー）と3か所の展示場所あるのですが、例えば季節の展示だと分かりやすいのですが、なぜ今回、このテーマにしたのかという説明があると、もっとみんなが興味を持つし、どんな本が並んでいるか見て、借りてみようかという気にもなります。さりげなくコーナーを作るのではなく、やるならもっとアピールして頂くと利用者の捉えかたやアプローチの仕方が全然変わってくるのではないかと思います。

コメントは、このままでかまわないのですが、実際に工夫をしていただけたらなと思います。

○図書館長

御意見をいただいたとおりで、どういう目的・理由でこの展示をやるのか、この展示においてどういう資料収集の方針があったのか、どういうことを訴えようとしているのかなどについてキャプションを付けるというのは、必要なことだと思います。今後、展示の内容に関して、もう一工夫、二工夫しながら、アピール力のある展示をしていく必要があると感じております。職員間で研鑽を重ねながら、少しずつ改善をしていきたいと思っております。なかなか一朝一夕には運ばないことではありますが、努力を重ねることによって成果をあげていきたいと思っております。

○議長

よろしく申し上げます。

それでは、4の項目について、説明をお願いします。

○図書館長

4については、3つの小項目があります。先ほど、1の項目の中でも申しましたが、郷土資料・地域資料の収集冊数が、当初の目標を大きく下回ってしまいました。様々な理由が考えられますが、いずれにせよ、郷土資料の収集方法については再度検討する必要があります。例えば、先ほどありましたように、デジタル化されたホームページ上の資料について、著作権法の範囲内で印刷するなどの努力・工夫をして、郷土資料の収集冊数増に努めたいと思います。この郷土資料の収集の評価はCでございますが、(2)(3)については概ね実施できております。

○事務局

続いて、コメント(案)について御説明いたします。

この項目については、郷土資料についての御意見をたくさんいただきました。広く情報を得る努力と寄贈してもらうようにPRが必要ではないかという御意見をいただいております。それから防府史料の電子化につきましては評価をいただいております。他に、図書館職員の研修またはそれにつながる郷土資料に関わる事業ということで、いろいろ御提言をいただいております。コメント(案)は資料5ページにまとめております。

○議長

今の説明に対する御質問や御意見がございましたら。

地域資料は、郷土資料と行政資料を含みますけれど、これは特に職員の研修・人材の養成が大変重要になってきます。今日の会議資料別紙で配布されている職員研修の実績というものがありますが、他の項目でも職員研修のことが意見として出ておりますので、これについて簡単に説明をお願いします。

○図書館長

平成28年度職員研修の実績は御覧のとおりでございます。職員が基本的な能力として身に付けなければいけない分野を中心に、研修をいたしております。適切な接遇サービス、不特定の人が集まる公共施設の管理、安心・安全な施設管理、危機管理をするという観点から、図書館職員に必要な研修として、御覧のような内容で行いました。平成29年度以降も、必要と思われる研修について、積極的に取り組んでいきたいと思っております。

○議長

今、若い職員が多いので、これから研修に励んでいただけることを期待したいと思います。

これで4のコメント(案)は、よろしいでしょうか。

それでは次に5の項目についてお願いします。

○図書館長

5の項目には2つの小項目がございますが、概ね計画どおり実施できており

ます。

昨年度、図書館コンピュータシステムを更新いたしまして、その中で学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムの構築可能なシステムを導入し、教育委員会との連携により学校支援サービスができる体制を構築しております。

また、他の図書館や博物館、美術館との相互協力も進めまして、資料の相互貸借だけでなく、レファレンス協力等も行っております。さらには文化振興財団のアспиラートやソラールとの連携も強化し、また国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス加入登録に向けての準備をしました。この国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスについては、セキュリティーを中心とする十分な準備体制が必要でしたので、早くから取り組みまして、今年の7月から、本格的な稼動を開始いたしております。

○事務局

続いてコメント（案）について御説明申し上げます。

学校図書館との横断検索が稼動いたしましてネットワークシステムが構築されたことについては、皆様から評価され、今後の運用に期待よせていただいております。それから文化振興財団内部の連携による事業についても評価していただいております。国立国会図書館をはじめ、他の図書館とのレファレンスや資料相互貸借の協力についても評価をしていただいております。それらをまとめまして、資料2の6ページのコメント（案）としました。

○議長

今の説明の対する御質問がございましたら。

○委員

コメント（案）のところの前半部分「学校図書館とのネットワークが構築されたのは、大きな前進である」の文章のところ、昨年度すばらしいネットワークシステムができたと喜んだ訳ですが、後半部分の「今後はその運用の充実を望む」の部分は、資料1の委員コメントにはもう少し具体的に載っていますね。これも一緒に公開されるので良いのかなとは思いますが、例えば、「学校図書館との連携や流通システムの運用の充実を望む」といった具体的な言葉がでてくると、何の運用の充実なのかが分かると思いました。

○事務局

御意見、ありがとうございます。内容をまとめすぎて、運用の内容が分からないような形になっておりましたので、こちらを入れていきたいと思っております。

○議長

そして次の、国立国会図書館等との連携の方も少し端折りすぎているのかなと感じます。資料1の5の項目にあるように、「国立国会図書館や県立をはじめ県内図書館との連携により」というのも、少し付け加えていただければと思い

ます。

○事務局

ありがとうございます。

○議長

続いて6の項目をお願いします。

○図書館長

6については、2つの小項目が設けてあります。この中で教育委員会との共催事業として、防府市図書館を使った調べる学習コンクールと防府市子ども読書フェスティバルを実施しました。また、ビブリオバトルについては、昨年度初めて開催いたしました。さらに、図書館ボランティア連絡会議、図書館ボランティア養成講座も開催いたしまして、学校図書館ボランティアネットというサークルとも合同研修を実施いたしました。

全体として、概ね計画どおり実施できたと思っております。

○事務局

6の項目のコメント（案）ですけれども、ビブリオバトルについて評価していただいております。内容については、少し検討すべきという御意見をいただきました。学校での児童向けの図書館のPRについても、御提案をいただいております。あと、児童コーナーのディスプレイにボランティア等の支援をいただいたらという御意見をいただいておりますので、資料7ページのコメント（案）のようにまとめました。

○議長

今の説明に対する御意見・御質問がございましたら、お願いします。

コメント（案）の中の児童コーナーのディスプレイというのは、展示とか飾りつけとか、そういったことですかね。

○事務局

具体的には書かれていなかったのですが、展示だけではなく、コーナーの表示ですとか、コーナーの書架や壁面などのディスプレイが含まれているのではないかと解釈しました。

○図書館長

図書館といたしましては、児童コーナーのディスプレイ等について、色々アイデアを出していただいたり、実際にディスプレイ作成に加わっていただいたり、その他諸々、図書館サポーターとして、これまでのイベントや学習活動を中心にしたボランティアとは別に、図書資料の利用促進に結びつくような活動をしてくださるボランティアの御協力は、歓迎すべきものと考えております。そうした皆さんが、図書館と手を携えて、一緒に活動していこうというふうにおっしゃってくだされば、図書館は積極的に協働していきたいと考えております。

す。

○議長

では、6のコメント（案）は、これでよろしいですかね。

続いて7のコメント（案）について、お願いします。

○図書館長

7についてですが、点字図書・布絵本・その他触る絵本等に関するPR活動をしました。その他、障害者・高齢者サービスに関わる行政の担当部署と連携し、また社会福祉協議会等とも連携して、障害者・高齢者のためのサービスを行いました。筆談によるサービスや障害者用の郵送貸出サービスを行い、障害者サービスに関わるボランティアの皆さんと連携して点訳資料・音訳資料・布絵本等を制作しております。また、コンピュータシステムの新しいソフトの導入に伴い、障害者サービスを推進できるソフトも導入いたしました。障害者・高齢者に対するサービスというのは、なかなか成果が目に見えにくい部分がありますが、図書館としては、障害者・高齢者サービスに係る基本的なことは常に維持し続けなくてはならないという姿勢で業務に取り組んでおります。全体として、概ね計画どおり実施できたわけですが、ただ先ほど言いましたように、なかなか成果が目に見えにくい部分もありますので、今後もボランティアの皆さん等と協力し、サービスの周知・PRに努めていかなくてはならないと考えております。

○事務局

委員の皆様から他の項目に対してコメントいただいたものでも、それぞれの内容によりまして別の項目にも当てはまるものは、再掲という形で入れております。この中でも障害がある利用者のためのボランティア講座は、この項目でいただいたコメントではないのですが、関連するものとしてこちらに入れさせていただいております。高齢者のニーズを掴んで的確なサービス・サポートをする体制を整えてほしいという御指摘と、今後高齢者の利用の研究をしてほしいとか対応してほしいという御要望もいただいております。これらをまとめたものが資料8ページでございます。

○議長

今の説明で何か御質問、御意見がございましたら。

○委員

7項目のコメント（案）2段目の認知症高齢者の増加に対する対策というところで、資料2の委員評価の中に認知症の回想法というものが出ているのですが、その部分の記述がないままで、認知症高齢者の対策に図書館として貢献できる方法というのは、かなりハードルが高いような気がします。いったい何ができるのかというのが、このコメント（案）の文章から推し量るのが難しいし、

図書館として認知症高齢者に対応できることを研究というのを図書館に求めるのは、個人的にはどうかと思います。具体例を載せずにコメント（案）のこの部分だけを載せても、分かりにくいと思いますし、図書館も動けるのかなと思います。

○議長

今後の課題として研究していくという表現になるのかなと。

○委員

今、高齢者が介護保険に認定される前の関係で予防の総合事業が始まっていますが、要するに体を動かすことだけでなく、頭を使ったりすることでの認知症予防に対して図書館も寄与するのだったら分かるけれども、認知症高齢者対策とはっきり唱ってしまうのはちょっとハードルが高いと思うのですが。

○議長

全国的には、認知症高齢者に対する図書館サービスを始めているところがあるのですが、それはまだ少ないですね。予防については、山口市の秋穂図書館が心理療法としての回想法ですね、写真を見たり古いものを見たりして、いろいろな話合いをすることによる（脳の）活性化を試みておられるところがあります。

○委員

ここは、予防という観点で、例えば福祉との連携でと言うならいいのですが、ここまではっきり図書館の目標として掲げるのが、実際には高すぎるのではと思いました。

○議長

ここの表現は検討して、詰めていただくということできたいと思います。

この一覧表も一緒に公開しますので、協議会のコメント（案）としては、若干の修正もありますけれども、検討していただくということできたいと思います。

○議長

7項目にわたり説明と、それから皆様方の御意見をお伺いしたわけですが、今後の公開までのスケジュールを事務局から簡単に説明していただけますか。

○事務局

ただ今委員の皆様から御意見をいただきましたので、それを元にコメント（案）を修正いたしまして、今月中には皆様に最終案をお送りして御意見をお伺いしたいと思います。付け加えた方がいいもの、また表現の修正等がございましたら、お知らせいただけたらと思います。8月中には、会議録と共に評価結果も市のホームページで公開したいと思います。

○議長

よろしく申し上げます。

それでは、次の議題の「平成29年度図書館事業計画について」は、これから第2回目の図書館協議会もありますので、事業計画については簡単に図書館から申し上げます。

○図書館長

それでは、御説明いたします。

従来からの事業、そして昨年度から新規に開始した事業については、今年度も継続して行ってまいります。今からの説明では、今年度、新規に行う事業を中心に説明してまいります。

まず、1-(4)、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧・複写業務を開始いたします。これは、昨年度から準備をいたしまして、本年度7月5日から本格的に実際の業務を開始いたしました。このサービスの周知・PRに努めてまいりたいと思います。これにより、レファレンスサービスの内容がさらに充実してくるものと考えております。

次のページにいきまして、3-(1)ビブリオバトルの開催について御説明いたします。昨年度は1回のみで開催でしたが、今年度は3回行います。5月は既に済ませておりまして、あと7月と12月、計3回、ビブリオバトルを行います。これについては、地域コミュニティFMのFMわっしょいとも協力・連携いたしまして、放送番組を通してその周知に努めてまいりたいと思います。

続いて4-(2)、防府史料第67集「近松浄瑠璃の本質と総合美的研究」(若月保治・著)の刊行とホームページへの掲載について御説明いたします。現在、来年3月の刊行を目指して作業を進めております。若月保治は、若月紫蘭というペンネームで知られていますが、メーテルリンクの「青い鳥」(チルチル・ミチルの話)をメーテルリンクから直接翻訳権を取得して、本格的な翻訳を日本で最初に行った人です。防府の西浦の出身で、当初西洋文学の翻訳等に力を注いでいましたが、途中から日本近世の浄瑠璃・歌舞伎の研究に力を注ぎ、大きな功績を残しました。戦禍の中、東京から防府に疎開し、戦後暫く防府に在住していましたが、防府在住中の昭和26年に、この「近松浄瑠璃の本質と総合美的研究」をガリ版刷りで自費出版しております。この資料は現在、国立国会図書館にも所蔵されてはいますが、いまだ活字資料として刊行されておりません。数も非常に少ない、極めて貴重な資料なので、防府図書館で活字資料として翻刻・刊行したいと思っております。

次に5-(1)についてですが、オンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進に努めてまいります。従来から実施しているサービスではありますけれども、昨年度、教育委員会と市立図書館において学校支



援図書を新たに購入し、その資料は現在、図書館で管理をいたしております。この学校支援図書を今年度も引き続き収集し、学校の教科授業、調べ学習等に活用していただけるよう、更に学校支援体制を整備・充実させたいと考えております。

5-(2)については、アспиラートやソラールとの連携強化を図ってまいります。この7月15日から8月6日まで、アспиラートで「絵本作家田頭よしただのおもちゃばこ展」が開催されますが、図書館でもこのイベントを連携イベントと位置づけ、様々な形で関わっていくことにしております。

最後に6-(2)について、御説明いたします。今年度、ボランティア主催の子ども向けイベントにおける図書館職員のブックトークを積極的に実施してまいります。「おはなしでんしゃ」のおはなし会において月2回、定例で図書館職員のブックトークを行っております。また、学校図書ボランティアネット・防府の研修会では、年3回、学期毎に新刊紹介のブックトークを行いますが、これらの業務実践を通して、子どもの読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る事業を展開していきたいと思っております。

今年度の主な事業は以上でございます。

○議長

ただ今の説明に対して、聞いておきたいことがございましたら、お願いします。

無いようですが、今年度は第2回目・3回目の図書館協議会も予定されておりますので、その際にまた御意見を伺うことにしたいと思います。

ではその他のことについて、事務局から何かございますか。

○事務局

今後の予定ですが、次回は10月頃の開催を予定しております。

○議長

それでは、本日は長時間わたり御協議をいただきまして、ありがとうございました。

平成29年度第1回目の会議ということで、平成28年度の図書館事業の評価について協議を行い、今年度の事業計画についても御説明を受けました。

今後とも、委員の皆様の御意見をいただきながら、図書館事業の点検・評価をすすめていきたいと思っております。おかげをもちまして、協議会としての評価のコメントを取りまとめることができそうですし、またそれを一覧表と共にホームページ上に公開する事もできそうです。

評価していただくのは、冒頭にも申し上げたとおり御負担をかけることとなりますけれども、図書館事業の振興・発展のために御協力をよろしく願います。

○教育部長

本日は、お忙しい中、長時間にわたりましてたくさんの御意見を頂戴しまして、本当にありがとうございました。皆様方に評価をいただくことによりまして、今、会長様からお話があったとおり、図書館のサービスの更なる向上につながるものと思っております。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。

○事務局

以上をもちまして、平成29年度第1回図書館協議会を終了いたします。皆様、気をつけてお帰りください。ありがとうございました。